令和６年度 倉吉市消防団関金地区団実動訓練要領

１　目　的

夜間において発生した火災を想定し、自然水利からの吸水操作、中継操作及び一般通行車両の誘導等、消火技術の向上、伝達確認、無線伝達及び安全確保等の諸行動の技術向上図る。

２　日　時

令和 6 年 11 月 23 日（土） 20 時 から 21 時まで

３　場　所

倉吉市 関金町 今西　鳥取県中部森林組合 関金支所周辺

４　参加機関

参加部隊

倉吉市消防団　関金第１分団（１隊）
関金第２分団（１隊）
関金第３分団（１隊）
関金第４分団（１隊）

西倉吉消防署　消防隊　　（１隊）

５　訓練想定

中部森林組合関金支所で火災発生、火点に対しての消火活動および北東からの風により隣接建物、原野への延焼防止の対応

６　その他

詳細は、次項「令和６年度 倉吉市消防団関金地区団実動訓練要領」のとおり

令和６年度倉吉市消防団関金地区団実動訓練要領

１ 実施内容

夜間無人の木材倉庫から出火、北東の風が吹く気象条件下で風下の事務所及び作業場などへ火の粉が飛んでおり延焼の可能性もある中での消火活動

２ 部隊編成

（１）倉吉市消防団

関金第１分団
関金第２分団
関金第３分団
関金第４分団

（２）西倉吉消防署

消防隊

交通誘導及び係員	
①中部森林東側入口付近(進入訓練車両の誘導)	1名
②中部森林西側入口付近(進入車両の訓練誘導、ﾌﾞﾘｯｼﾞへの誘導)	1名
③県道横断箇所(下り車両の誘導)	1名
④県道横断箇所(上り車両の誘導)	1名
⑤市道と県道との交差点(県道進入車両の誘導)	1名
⑥第3分団火点(火点の準備、片付け)	1名
⑦第2分団火点及び西倉署火点(火点の準備、片付け)	1名
⑧第1分団コーン(コーン2箇所の準備、片付け)	1名

３ 場　　所

（１）実施場所　倉吉市関金町今西　鳥取県中部森林組合 関金支所周辺

（２）待機場所　旧国鉄倉吉線廃線跡 観光案内所駐車場

（３）そ の 他　出動隊は１９時４５分までに待機場所へ集合する。

本部要員は、各分団より２名で１９時３０分までに中部森林組合関金支所に集合すること。

４ 時系列スケジュール（待機場所から指揮本部の指示で出動）

２０：００　**訓練開始**（関金第２分団、第３分団出動）

倉吉市関金町今西　中部森林組合関金支所より火災発生

各分団は現場到着時間から逆算して出発する（待機場所から現場まで約２分）

２０：０２　**関金第３分団現場到着**

中部森林組合関金支所東側用水路より揚水し、木材倉庫北東側（火点①）に向け放水を行う。第２分団が中継操作に移行したタイミグで火点②に放水開始

２０：０２　**関金第２分団現場到着**（関金第４分団出動）

中部森林組合関金支所東側用水路より揚水し、木材倉庫東側に向け放水を行う

西倉消防署到着後放水を中止し、西倉消防署ポンプ車に中継する

２０：０４　**関金第４分団現場到着**（関金第１分団出動）

県道と市道陽線交差点付近の用水路より揚水し、後着の関金第１分団へ中継する

２０：０６　**関金第１分団現場到着**（西倉消防署出動）

関金第４分団より中継を受け、中部森林組合事務所及び木材倉庫西側に向け延焼防止の放水を行う

２０：０８　**西倉吉消防署消防隊・指揮隊現場到着**

関金第２分団より中継を受け、木材倉庫南側（火点③）及び延焼防止として南側作業倉庫に向け放水を行う

中部森林組合東側本部で消防団と共に指揮活動を行う

２０：１５　**鎮圧**

各隊の懸命の消火活動により、火災は鎮圧状態

２０：２０　**鎮火**

延焼なく火災は鎮火、撤収作業開始し閉会式会場に集合する

２０：３０　**閉会式開始**

会場：中部森林組合関金支所東側スペース（本部設置場所付近）

２０：４０　**閉会式終了**

２１：００　**解散**

ホース等の片付けを行い解散

ポンプ車部署位置及びホース展張ルート等は、別添「ポンプ配置図」参照

5 無線運用

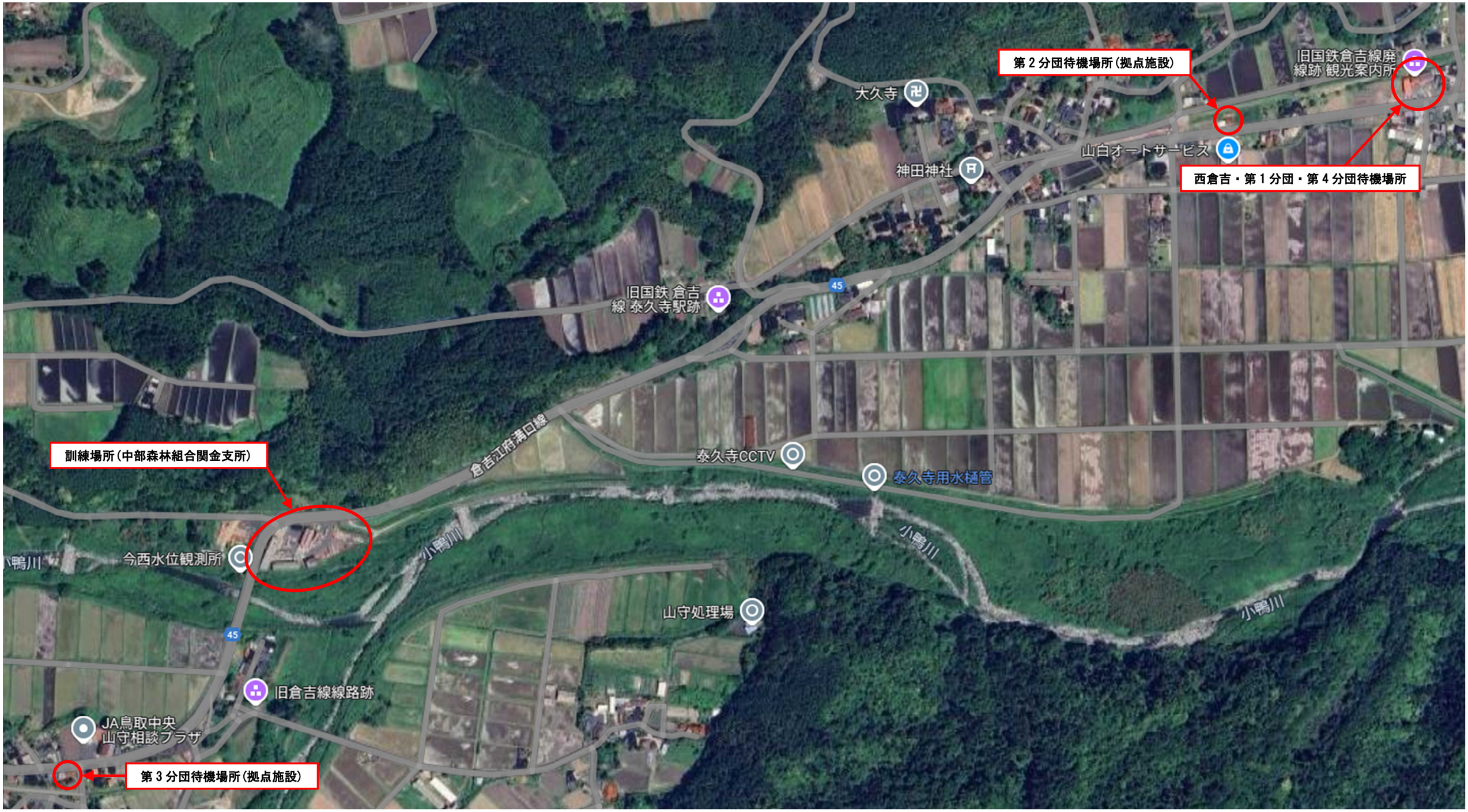
（1）現場指揮本部　　消防団運用無線（１ｃｈ）
（2）消防団各隊　　消防団運用無線（１ｃｈ）
（3）西倉吉消防署消防隊　消防無線

6 閉 会 式（進行は倉吉市消防団が実施）

（1）時　間　２０時３０分から２０時４０分まで
（2）場　所　中部森林組合木材倉庫東側
（3）講　評　西倉吉消防署長
（4）挨　拶　倉吉市消防団長

7 その他

（1）現着した分団は指揮本部から活動内容の指示を受ける
（2）サイレンの吹鳴は、関金第３分団は今西橋付近手前、その他の隊は泰久寺集落通過後とする
（3）情報の連絡は、無線運用及び伝令員にて行う
（4）訓練実施の可否決定は当日１８時とし可否決定員は小椋副団長とする
（5）ホースラインは、努めて道の端へ直線に延長し、交通障害とならないようにする
（6）ホースブリッジを使用し、車両の走行に支障のない様にする
（6）火点への放水は低圧噴霧とし、放水・ホース展張の際には周囲の工作物等に十分留意する
（7）火点は、発煙筒とする。類焼を防ぐための放水位置は、三角コーンを設置しておく
（8）水利場所は、本部要員の指示した水利から揚水すること。
　尚、今回の訓練に使用する用水路の水深が浅い場合があると予想されるので、ディスクストレーナー及び土のう等を準備すること
（9）災害時は、現場指揮本部の指示で対応する

北東の風
N
45
県道倉吉江府溝口線
市道陽線
本部要員⑤
第４分団
本部要員②
本部要員③
本部要員①
第３分団
事務所
本部要員⑥
第２分団
本部要員④
本部要員⑧
第１分団
木材倉庫
火点①
本 部
火点②
火点③
本部要員⑦
西 倉 吉
倉吉江府溝口線
45

令和６年度 関金地区団夜間訓練 待機場所及び全体図